

# 令和4年度「ちよだをつなげる女性30人」

## 第3回 開催報告

■開催日時：令和4年9月29日（木）13：30～16：30

■会場：区役所4階 会議室A・B、403会議室

### ■内容：

#### ◆中間報告会

第3回では、メンバーの関係者や区役所関係各課職員など、ステークホルダーをゲストに招き、中間報告会を行いました。地域で課題だと思うこと、それをもとに考えた企画・アイデアを発表し、ゲストと共に考え、意見交換を行いました。

#### ①おもてなしちよだ 知りたい情報ステーション

テーマ：情報集約

内容：区から発信される情報はアクセスしづらく、必要な情報にたどりつくのが難しい。産後の多忙な母親でも、日本語が母語でなくても、あるいはインターネットが苦手な高齢者でも、自分が求めている情報にたどりつけるようなシステムがあるとよい。例えばデジタル掲示板、困りごとを入力すると答えてくれるAIを設置・開発できないか模索したい。



#### ②ちよだにここに子育て隊

テーマ：子育ての困りごとに関する情報プラットフォーム

内容：子どもの預け先がない、夏休みの小学生の居場所が見つからない、小児科や区内の子ども向けイベントについて知りたいなど、パパママの知りたい情報はたくさんあるものの、子どもの年齢や居住エリアに合わせた横断的な情報を得ることが難しい。そこで、プッシュ型ではなく、シェア型の情報プラットフォームを創設したい。



### ③しょうけいちよだ

テーマ：中小企業の事業承継

内容：後継者がおらず事業をたたんでしまう中小企業は、千代田区にも少なくない。その事業承継を女性に任せることはできないか。出産を機に離職し、再び働くことを考えてはいるものの、どんな仕事ができるのか、フレキシブルに働ける仕事があるのか、わからず悩んでいる女性は多い。そこで、後継者を探している事業と自分の思いを実現する仕事を探す女性とをマッチングすることで、新しい女性の働き方を提案したい。



### ④ちよだ 100 万人ワンチーム

テーマ：在勤者と在住者をつなぐ

内容：千代田区の昼間人口は 100 万人近くと言われており、夜間人口の約 17 倍にもものぼる。多数いる在勤者が地域でのボランティア活動を行うなどして、在住者、千代田区との接点を持ってもらいたい。



### ⑤ここから一歩～ママの困りごと\_カミングアウト～

テーマ：子育てで孤立しがちな人の居場所づくり

内容：障害のある子どもを育てていると、悩みを遠慮なく話し合える場や仲間を見つけるのが難しい。悩みを話しづらいためにコミュニティに参加できず、孤立してしまうことも。そのようなママたちが悩みを話しやすく、困りごとが解消できるような場、ワンストップのような仕組みのあり方を考えたい。



### ⑥スナックちよだ

テーマ：サードプレイスの提供

内容：家でも職場でもなく、みんなが気軽に悩みを吐き出せる「スナック」のような場をつくりたい。カウンターの内側に入る人や「テーマ」をどんどん変えて、さまざまな人が集まる場にすることで、区内の「人の宝探し」にもつなげたい。



### ⑦ちよ☆がく

テーマ：中高生の地域活動拠点と生涯学習

内容：未就学児の保育園、小学生の学童にあたる場所が中高生にはみられない。自宅近くの飲食店で長時間時間を浪費するのではなく、区内の企業や施設に協力を求め、安心できる放課後のアクティビティを作りたい。中高生を核として多年齢層での生涯学習のきっかけも創出していきたい。



### ⑧千代田“週末アーティスト”キャラバン

テーマ：“週末アーティスト”の創出

内容：空き店舗や公的な施設などを活用し、週末だけ活動するアーティストの発表の場にしたい。自分自身の中に眠るクリエイティビティを解放することは癒しにもつながる。また、あまり活用されていないスペースの活用は区の魅力を引き出すことに。さらに伝統的なアートを支えるコミュニティの継続にも役立てたい。



### ◆振り返り

中間報告会後は全チームが集合し、報告会で見出した気づきや発見、感じたことなどについて全体で共有しました。各チームからは、「ゲストからのアドバイスや意見により、ぼんやりしていたことがハッキリ言語化された」、「他のチームの発表からもヒントが得られた」、「ゲストの意見でより企画の方向性が明確になった」などの声があがりました。

第4回では、中間報告会の内容を踏まえ、実際に具体的な企画を考えていきます。

